

アクティブ サポート京都

Active Support Kyoto

京都産業21のビジネス情報誌

02

feb. 2004. No.005

<http://www.ki21.jp>



CONTENTS

京都ビジネス交流フェア2004	1
新春賀詞交歓会	6
情報提供事業啓発普及講習会	7
ケータイ国際フォーラム	8
受発注コーナー	9
設備貸与制度／下請取引適正化講習会	10
行事予定表	11

がんばる企業を支援します。

財団法人 京都産業21

Kyoto Industrial Support Organization 21

「産・学・公が集う! 京都最大規模のビジネスイベント!」
京都ビジネス交流フェア2004

変わろうとするものたちへ。京都から。

日時：2004年2月17日(火)～18日(水)
10:00～17:00(※18日は16:30終了)

場所：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

主催：京都府、財団法人京都産業21



開催イベント概要①

京都ビジネスパートナー交流会2004 (2004年2月17日(火)～18日(水))

京都府内の中小企業が、自社開発製品やIT、特殊技術を駆使した加工製品、また、それらのパネル等を展示。その場で商談!

新たなビジネスパートナーの発掘及び経営戦略、技術の相談、産学公交流の場を提供します。また、今回初めて、大手発注メーカー(出展8社)による「技術アライアンスコーナー」を設けました。

会場：イベントホール

出展企業：172社(機械金属、電機・電子、樹脂、情報等)4グループ、7大学、6機関

出展企業の声

ニューリー株式会社

取材対応者 井田 敦夫氏(代表取締役) 石川 宏一郎氏



ニューリー株式会社は、イメージスキャナ、画像処理ソフト、X線イオウ分析、FA&精密エンジニアリング、基盤テストエンジニアリングの5つのオリジナル・コアテクノロジーを持ち、多様なニーズに対応したスキャニング技術の開発とその応用方法の提案まで、トータルに業務展開しています。

たとえば、従来の二次元的なスキャニングのみならず、立体物をそのままスキャニングすることで多様な用途に対応。さらに、濃度ムラの多い青焼き図面なども、最適2値化スキャンをすることで、鮮明なデータを作成。このような多彩な技術で、これからのデジタルアーカイブに欠かせないデータ作成・管理分野をソフトとハードの両面でサポートしています。

2月17・18日の出展では、「イメージキャリパス」(大型フラットベッドスキャナを使ったビジュアル計測&仕上がりチェックシステム)をご紹介いたします。従来、板金加工後の精度計測にはノギスを使った手計測が行われてきました。「イメージキャリパス」を使用すれば、複雑、かつ数多い板金加工後の検査も、スキャニングする要領で簡単に測定ができます。さらに、測定したデータを検査記録として残せるので、品質管理も同時に行えるようになります。

当日は、加工現場、設計事務所で活用いただけるアプリケーションソフトとしてのご提案を、実演もまじえ行う予定です。多くの方に、当社のトータルな提案力を実感していただけるよう、具体的で実用的な展示内容を考えております。

株式会社クロスエフェクト

取材対応者 竹田 正俊氏(代表取締役)



株式会社クロスエフェクトが最もご提案したい技術は、最先端3Dエンジニアリングを駆使した、高速試作モデル製作です。

当社の3Dデザイナーを使って、従来では難しかった「図面レス」からの垂直立ち上げによるモノ造りを実現します。デザイナーが作成した手作りモデルをそのままスキャニングし、弊社独自のモデリング技術で光造形用のデータを即座に作成します。また、このデータは金型製作に活用できる為、作業工程の無駄を最小限にする事が出来ます。このように試作段階での作り込みに重点を置く事によって、下流工程でのスムーズな生産体制を可能にしていると同時に、コストパフォーマンスにも大きなメリットが見込めます。

このような最先端の技術と、当社が一貫して行っている作業工程をご紹介します事で、さまざまなニーズへのアプローチを図るきっかけとして、また、多くの方との出会い、情報交換の場としても今回の出展に期待しています。

メテック北村株式会社

取材対応者 鹿子木 俊朗氏(取締役工場長)・岡田 敦史氏(工場技術課リーダー)



当社は、1918年の創業以来、めっきの可能性を追求し、多彩な表面処理技術を開発してまいりました。

国際化がますます進み、地球規模での環境負荷への配慮が企業の最重要課題と考えられる21世紀において、めっき技術分野では、鉛フリーなどの新技術の開発が大きな課題でした。

当社が開発した新技術をご紹介します、また、多くの方々、企業からの情報収集を含めた出会いの場として、今回の出展を考えております。そのため、技術、開発、営業の若手3名によるプロジェクトを組み、当社のめっき工程を分かりやすくご紹介できる展示を計画しております。

この機会に出会えた方々と、ビジネスパートナーとしてお互いに技術を磨き合い、視野を広める交流ができることを期待しております。

また、社内的にもこのようなプロジェクトを組み、各分野で活躍する若手同士が互いの意見をぶつけ合う機会を持ち、さらに社外からの刺激を受けることで、会社全体の活性化を図るきっかけになると期待しております。

株式会社シオガイ精機

取材対応者 塩貝 寿俊氏(代表取締役)



印刷機・電子部品組立装置・デバイス検査装置など、自動機の大型部品から小型部品まで、あらゆる部品の設計制作及び組立・電気配線調整まで一貫したシステムでご提供しています。

当社では、全機種CNCの自動化により受注から納品までの時間短縮を図ると共に、徹底した作業工程の合理化及び作業状況の把握につとめ、多様なニーズに迅速にお応えできる体制を整えております。また、全国及び海外へも目を向け、他の製造業とのネットワーク事業も展開しております。自社の得意分野を追求すると同時に、幅広いノウハウを持ったネットワーク企業として、積極的でより確かなものづくりをめざします。今回の出展は、多面的にプロフェッショナルスキルをご提案できる当社のネットワーク力、及び、設計、製造、組立、サポートまでトータルな提案力を広く知っていただけるチャンスとして捉え、面白い動く装置などを展示し、交流を深めるきっかけづくりを考えております。

技術アライアンスコーナー 出展企業決まる!!

技術アライアンスコーナー in ビジネスパートナー交流会
 ビジネスパートナーを求め、府内大手メーカーも出展!

来る2月17日18日の両日、「京都ビジネス交流フェア」のメインイベント「京都ビジネスパートナー交流会2004」に、「技術アライアンスコーナー」を設置します。

今回、初めて、府内大手メーカー8社が、優秀な技術アライアンス先を発掘するため出展します。中小企業の皆様方が、自社の優れた技術を提案して、売り込んでいただく絶好の機会ですので、ご参加をお願いします。

場 所：国立京都国際会館イベントホール（ビジネスパートナー交流会会場内）

受 付：事前予約は不要ですが、商談を希望される方は、当日会場受付が必要です。

参加資格：出展メーカーとの商談できる企業は、原則として「ものづくり（ソフト含む）」系企業です。なお、出展メーカーの判断で、調達品目の内容により、商談出来る企業が限定される場合があります。また、物販目的での商談は出来ませんのでご了承ください。

技術アライアンスコーナー 出展メーカー

※左段より五十音順（敬称略）

株式会社イシダ

【生産管理部・購買管理課】

資本金：99百万円 従業員：1,170名

取扱製品：ハカリ、計量及び周辺自動化機器等

自社サイト：<http://www.ishida.co.jp>

調達サイト：-

技術アライアンス情報①

アライアンス（又は調達）分野	板金（溶接含む一般板金、プレス、絞り）、切削（旋盤、フライス）、成型（インジェクション、ダイキャスト、真空・圧空等）、製缶等。
アライアンス（又は調達）概要	計量機器及びその周辺装置、搬送装置一式
条件等	多品種、少ロット、素材等直調達（支給無し）
求める技術概要・得意分野	ユニークな技術（他にない）や、誇れる技術・理念

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	△ 金型設計～製作	× 機械加工	○
板金・製缶加工	○ 鍛造・鋳造	△ 表面処理・塗装・熱処理	○
成型・樹脂加工	○ 電気・電子機器加工	○ 木型・木工加工	△
情報技術・ソフト作成	× 試作加工	× ()	
自社開発製品（技術）	× その他	× ()	

オムロン株式会社

【①技術統括センタ 高度生産システムグループ】

【②業務改革本部 集中購買部】

資本金：64,082百万円 従業員：23,480名

取扱製品：制御機器、システム機器、健康機器等

自社サイト：<http://www.omron.co.jp>

調達サイト：<http://www.omron.co.jp/corporate/purchase/index.html>

技術アライアンス情報①

アライアンス（又は調達）分野	①設備化技術開発設計 ②加工品全般の調達
アライアンス（又は調達）概要	①プリント配線基板搬送システム開発他 ②加工品全般
条件等	-
求める技術概要・得意分野	自動機開発設計、要素技術開発

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	○ 金型設計～製作	× 機械加工	×
板金・製缶加工	× 鍛造・鋳造	× 表面処理・塗装・熱処理	×
成型・樹脂加工	× 電気・電子機器加工	× 木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	○ 試作加工	× ()	
自社開発製品（技術）	○ その他	× ()	

株式会社京都製作所

【生産本部調達部】

資本金：1,210百万円 従業員：250名

取扱製品：包装機械、メディア・IT関連機器、

医療・医薬関連機器等

自社サイト：<http://www.kyotoss.co.jp/>

調達サイト：-

技術アライアンス情報①

アライアンス（又は調達）分野	機械加工（SS、SUS、AL、FCD、FC）別途機械組立、機内配線
アライアンス（又は調達）概要	自動包装機 及び IT関連の加工部品、別途組立
条件等	キズ、取扱い注意部品有り
求める技術概要・得意分野	縦横マシニング、旋盤、フライス機械加工 他

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	× 金型設計～製作	× 機械加工	◎
板金・製缶加工	○ 鍛造・鋳造	△ 表面処理・塗装・熱処理	×
成型・樹脂加工	× 電気・電子機器加工	× 木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	× 試作加工	× ()	
自社開発製品（技術）	× その他	× ()	

株式会社島津製作所

【部材調達：調達本部】 【分析機器関連：京都支店】

資本金：16,800百万円 従業員：7,900名

取扱製品：計測機器、医用機器、航空・産業機器等

自社サイト：<http://www.shimadzu.co.jp/>

調達サイト：-

技術アライアンス情報①

アライアンス（又は調達）分野	有害科学物質への対応
アライアンス（又は調達）概要	使用する原材料・部品・事務用品・設備等の調達において、環境への影響のより少ない物品及びサービスを優先し、EU（欧州連合）における廃電気電子機器リサイクル指令（WEEE）及び電子電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令（RoHS）、また使用済み自動車に関する欧州議会及び理事指令（ELV指令）等で規制される「鉛・カドミウム・6価クロム・水銀・臭素系難燃剤2種（PBB・PBDE）他」を排除した部品の製造技術及び供給体制の確立が要求されています。
条件等	-
求める技術概要・得意分野	当社では、欧州環境規制（WEEE&RoHS・ELV）に対応できるお取引先様からの調度を優先すると共に、部品に含まれる特定有害物質の測定に必要な分析技術を紹介いたします。

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	- 金型設計～製作	- 機械加工	-
板金・製缶加工	- 鍛造・鋳造	- 表面処理・塗装・熱処理	-
成型・樹脂加工	- 電気・電子機器加工	- 木型・木工加工	-
情報技術・ソフト作成	- 試作加工	- ()	
自社開発製品（技術）	- その他	- ()	

大日本スクリーン製造株式会社

【プロキュアメントセンター 開発契約部 開発購買グループ】
 資本金：43,859百万円 従業員：2,400名
 取扱製品：半導体製造装置、液晶製造装置、画像情報処理機器等
 自社サイト：<http://www.screen.co.jp/>
 調達サイト：<http://www.screen.co.jp/procure/index.html>
 技術アライアンス情報①

アライアンス(又は調達)分野	板金加工・金属加工・樹脂加工・製缶・鋳物
アライアンス(又は調達)概要	主に半導体・液晶装置関係の各種部品
条件等	半導体・液晶装置部品の納入実績があり、弊社の仕事 が月500万円以上可能なこと。加工設備・検査機器を有 すること。納期管理が十分できること。(商社は除く)
求める技術概要・得意分野	板金加工⇒主な材質は、SUS304BA、2Bで、洗浄・検 査まで行えること。 金属加工⇒主な材質は、SUS・アルミで、表面処理・洗 浄・検査まで行えること。

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	△	金型設計～製作	×	機械加工	○
板金・製缶加工	○	鍛造・鋳造	○	表面処理・塗装・熱処理	○
成型・樹脂加工	○	電気・電子機器加工	○	木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	×	試作加工	○	()	()
自社開発製品(技術)	×	その他	×	()	()

日本輸送機株式会社

【資材部 購買企画課】
 資本金：1,780百万円 従業員：800名
 取扱製品：バッテリーフォークリフト、物流システム機器等
 自社サイト：<http://www.nichiyunet.co.jp/>
 調達サイト：関西Eビジネスネットワークに情報有り
<http://www.ebn.kankeiren.or.jp>

技術アライアンス情報①

アライアンス(又は調達)分野	技術アライアンス情報②参照
アライアンス(又は調達)概要	技術アライアンス情報②参照
条件等	—
求める技術概要・得意分野	コスト追求型&提案型ビジネスパートナーを募集

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	×	金型設計～製作	×	機械加工	○
板金・製缶加工	○	鍛造・鋳造	○	表面処理・塗装・熱処理	○
成型・樹脂加工	○	電気・電子機器加工	○	木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	×	試作加工	×	()	()
自社開発製品(技術)	×	その他	×	()	()

株式会社堀場製作所

【資材部】
 資本金：6,578百万円 従業員：3,690名
 取扱製品：エンジン計測機器、科学計測機器、環境用計測機器等
 自社サイト：<http://www.horiba.co.jp>
 調達サイト：—

技術アライアンス情報①

アライアンス(又は調達)分野	金属加工(切削加工、板金加工、ダイキャスト)、 樹脂加工(インジェクション、切削加工)
アライアンス(又は調達)概要	分析、計測機器部品
条件等	—
求める技術概要・得意分野	小ロットの金属切削加工

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	×	金型設計～製作	○	機械加工	○
板金・製缶加工	○	鍛造・鋳造	△	表面処理・塗装・熱処理	○
成型・樹脂加工	○	電気・電子機器加工	△	木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	△	試作加工	△	()	()
自社開発製品(技術)	×	その他	×	()	()

株式会社村田製作所

【資材部】
 資本金：69,300百万円 従業員：5,160名
 取扱製品：コンデンサー、圧電製品、高周波デバイス、
モジュール製品等
 自社サイト：<http://www.murata.co.jp/>
 調達サイト：—

技術アライアンス情報①

アライアンス(又は調達)分野	外注部品(プレス、モールド、鋳物、金属切削)
アライアンス(又は調達)概要	—
条件等	少量・安価対応
求める技術概要・得意分野	金属切削、金属プレス

技術アライアンス情報②

◎=今すぐ求めている ○=将来的に求めている △=検討できる ×=求めていない

機器・設備設計～製作	×	金型設計～製作	×	機械加工	○
板金・製缶加工	○	鍛造・鋳造	○	表面処理・塗装・熱処理	○
成型・樹脂加工	○	電気・電子機器加工	○	木型・木工加工	×
情報技術・ソフト作成	×	試作加工	△	()	()
自社開発製品(技術)	○	その他	×	()	()

開催イベント概要②

2004年2月17日(火)

京都ものづくりフォーラム2004 10:30～12:00

会場：RoomA

テーマ：「コラボレーション経営」

—中国におけるモバイル・ネットゲーム戦略—

講師：株式会社トーセ 代表取締役社長 齋藤 茂 氏

情報化プラザ 13:00～15:00

会場：RoomC1

テーマ：「生産革新で新しいビジネスチャンスを創る」

講師：株式会社メック推進センター 代表取締役 久保 敬雄 氏

テーマ：「ウィルスの最新動向と対策」

講師：日本ネットワークアソシエイツ株式会社

McAfee事業本部技術統括部長 加藤 義宏 氏

京都“ぎじゅつ”フォーラム 15:00～17:00

会場：RoomD

内容：・平成15年度京都中小企業技術大賞表彰式

・大賞受賞企業プレゼンテーション・講演

テーマ：「オンリーワンあつての技術革新」

講師：株式会社島津製作所 取締役 瀧本 慎吾 氏

2004年2月18日(水)

省エネセミナー 13:00～14:30

会場：RoomC1

内容：「環境管理に挑戦する中小企業群」

～省エネルギー推進企業の事例紹介～

国際化セミナー 13:30～16:30

会場：RoomD

～中国の“市場”をどう見るか～

テーマ：「激変中国-中国市場攻略」

講師：中小企業総合事業団 国際化支援アドバイザー

金丸 健二 氏(元兼松株北京事務所副所長)

テーマ：「変わる中国, 変わらない中国」

講師：G.C.コンサルティング有限公司

代表取締役 白鳥 隆夫 氏

(元三井物産(中国)有限公司社長)

平成15年度京都中小企業技術大賞企業決まる！ 受賞技術を展示しています。

今年度、7社の中小企業技術が技術大賞・優秀技術賞に選ばれました。「京都ビジネス交流フェア」の開催に併せて表彰式を行なうと同時に、選考された優秀な技術を広く紹介するため、フェア会期中にイベントホールで開催する「京都ビジネスパートナー交流会」で展示、紹介しています。ご来場の節は、是非ともブースにお立ち寄りください。

平成15年度京都中小企業技術大賞受賞技術の紹介

◆京都中小企業技術大賞

株式会社ファーマフーズ研究所

京都市南区 代表取締役 金 武 許

『ピロリ菌(胃潰瘍原因菌)に対する鶏卵抗体の大量生産技術及び機能性食品への応用技術』

ヒトの消化器疾患の原因であるヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)の表面にある接着因子(ウレアーゼ)を抗原としてニワトリに注射すると、ニワトリのもつ免疫システムにより、鶏卵にピロリ菌に対する抗体が大量に蓄積されることを利用し、「特異的卵黄抗体」を含む食品素材を大量生産する技術を開発した。さらに、この素材を種々の加工食品に利用する技術を確立したことにより、従来の抗生物質に代え、ヘリコバクター・ピロリを直接かつ安全に駆除することができるようになった。

◆京都中小企業優秀技術賞

インタクト株式会社

京都市下京区 代表取締役 則内 健司

『3 μ mシリカ粒子による高分解能ODSカラム』

高速液体クロマトグラフ(HPLC)用分離カラムの性能は、理論的には、充填剤の粒子径を現在の5 μ mから3 μ mにすることにより、カラム効率が上がることが判っている。

この3 μ m粒子の理論性能を引き出すため、独自の処理技術、粒子表面への新規の処理技術の開発、空カラムの設計などにより、現在の約2倍の性能を持つ3 μ mカラムの開発に成功した。これにより、従来に比べ、分析時間の短縮及び溶離液(溶媒)使用量の削減が可能となり、また、従来分離が困難な多成分系においても分離が期待できるようになった。

技研トラステム株式会社

京都市伏見区 取締役会長 坪田 直機

『ベクトル焦点法を用いた形状認識手法の開発』

物体の外形状を法線ベクトルデータとして求め、そのベクトルの位置や角度を評価して、人間がどうか等の判断を行なう画像処理による形状認識技術である。当該技術を人数計測システム等に利用することにより、物体を高速かつ容易にその位置、数量、種類を正確に認識することができる。

物体認識技術は、これまで赤外線方式のものが主流で、設置環境によっては大きな誤差が発生していたが、独自に開発したこの画像処理技術を用いることで、より精度が高く、ほとんど誤差のない計数が可能となった。

株式会社エイコム

京都市伏見区 代表取締役 大窪 茂

『自動連続血液サンプリング装置 DR-II』

一番の特徴である5方バルブの働きにより、血液を希釈することなく最小限の血液の損失で、無拘束状態の実験動物から経時的に長期間の採血をすることができる。従来人間が手作業していたことを装置で自動的に行なうことにより、採血時に動物に与えるストレスが減少し安定した測定値が取れ、また研究者の労働環境改善にも貢献している。

パソコン1台で当該装置16台を同時制御することができるなど、動物実験の大幅な省力化の達成が可能となった。

株式会社栗田製作所

綴喜郡宇治田原町 代表取締役 石井 庄司

『高密度超厚膜DLCコーティング技術の開発』

プラズマ発生用の高周波電源とイオン注入用の高電圧パルス電源を重畳させる技術を用いることにより、従来型の高周波・パルス高電圧型プラズマイオン注入装置やイオン蒸着法等のDLC成膜に比べ、①立体形状の成膜性②密着性③最高100 μ mの超厚膜④絶縁物に対する成膜性⑤Al、Ni、Cuなど難成膜物質に対する成膜性に優れた三次元バックDLC成膜装置を開発し、従来型他方式DLC成膜技術における問題を解決した。

協業組合オー・ド・ヴィ

京都市下京区 代表理事 佐野 剛一

『清涼飲料水の自動販売機の製造・販売及びメンテナンス』

京都の異業種企業がそれぞれの技術を持ち寄って開発した、日本初のミネラルウォーターの量り売り自動販売機である。この販売機は、活性炭及びフィルター浄水層で水中塩素、有機物等を除去し、イオン交換樹脂で亜硫酸イオンなどを削減する。さらに、加熱処理した粒状麦飯石(花崗斑岩の一種)等で構成される活水器でカルシウム、マグネシウム等のミネラルを溶出させる。最終滅菌層は、マイクロフィルターで除菌し水質の安全を保証しており、注水口や容器に対しての洗浄・殺菌機能も組み込んでいる。

株式会社ラプラス・システム

八幡市 代表取締役 堀井 雅行

『太陽光発電シミュレーションソフト「Solar Pro」』

太陽光発電のシミュレーションソフトであり、3次元CADと連動し、太陽の動きや近接建物の影の影響、設置角度、温度の影響などを考慮して、リアルタイムに発電量を計算するソフトを開発した。

従来の太陽光発電の出力計算は、表計算を用いた簡易なものであり、精度も低く目安にすぎなかった。この計算ソフトは、太陽光発電以外の他製品への応用も可能である。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業振興部 企業振興課

TEL:075-315-8590

FAX:075-315-9240

URL:<http://www.ki21.jp>

E-mail:kyotofair@ki21.jp